

ハイブリッド

水郡線営業所分会



JTSU-E 水郡線営業所分会

2025年1月25日 No. 15

発行責任者: 長嶋 竜一

フジテレビの労組へ社員が結集し、経営陣にももの申す 非常識で異常な経営姿勢に“No!”を突き付ける!

社会から批判が殺到、フジテレビの“会社の常識”が指弾される

タレントの女性トラブル対応を巡り、フジテレビの問題が連日報道されています。そのさなか、フジテレビの労働組合はわずか一週間ほどで組合員数が80→500名超に急増しているとも報道されています。“このままではいけない”“経営陣へもの申すため”に組合に結集した方も少なからずいることでしょう。

おや?“会社の常識”は“社会の非常識”といえは…

JR東日本会社も同様に指弾される日はそう遠くないかもしれません。水郡線活性化のために社員が時間をかけて自治体との関係を築き、現場長も了承の上で進めてきたことが突然、JR東日本会社の“ちゃぶ台返し”でなかったことにされてしまいました。しかも自治体へのNG連絡は電話1本。出前かよ。



この手の話は“言った・言わない”の水掛け論になりがちですが、これまでの情報紙で明らかにしてきた事実を見れば、このJR東日本会社がいかに**傲慢・強引・官僚体質の経営姿勢**なのかが分かります。JR東日本会社の**自己保身的な勝手都合で、会社の意に沿わない活性化は排除**するかの如く、自治体に対し電話1本でNGとは“**地域貢献・地域活性化**”を標榜している会社のすることではありません。このような経営姿勢のJR東日本会社に水郡線の**存続・活性化**の取り組みは委ねられません。**私たちは自分ごととして“水郡線を守る!自分たちの職場を守る!”**そのために**考え、行動していかなければなりません。**

JR東日本輸送サービス労組水郡線営業所分会はその先頭に立ち、これからも**地域の皆さまと連携した取り組みを進めるとともに、声を上げ続けていきます!**